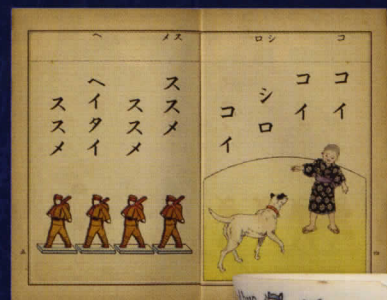




戦争と大津

— 激動の時代と子どもたち —

企画展



To Boys and Girls in Japan

This passport introduces

Jean Highland

a citizen of the U. S. A.

Japan as a Messenger

to see the Hi

his Messeng

ls of A

and a M

take

Japan

ion

all the

wishe

UNCLE SAM

PERSONAL DESCRIPTION

Jean Highland



平成26年 7月19日[土] - 8月31日[日]

小・中学生 無料

【開館時間】午前9時から午後5時(入場は午後4時30分まで)

【観覧料】一般:400円(320円) 高・大学生:300円(240円)

【休館日】月曜日(7月21日を除く)、7月22日

【主

催】大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・京都新聞

【後

援】NHK 大津放送局・びわ湖放送・radio

※()内は、前売り、15名様以上の団体割引、または大津市内在住の65歳以上の方、大津市内在住の障害者の方の割引料金(証明書等をご提示ください)。

※前売り券は、大津市観光案内所(JR大津駅・石山駅・堅田駅前)、大津市民会館、ローソンチケット(Lコード59189)をはじめ、京阪津地区の主なプレイガイドで7月1日から8月31日まで発売。

大津市歴史博物館

〒520-0037 滋賀県大津市御陵町2番2号

TEL 077-521-2100 <http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp>

戦争と大津 — 激動の時代と子どもたち —

昭和2年(1927)、アメリカから日本の子どもたちに1万2千体を超える「青い目の人形」がプレゼントされた。人形は、日米親善の願いがこもった平和の使者だった。かわいらしいお人形さんは幼稚園や小学校で大切にされたが、昭和16年、そのアメリカと日本が戦争を始めると、敵国の人形を飾っていてもよいのかという意見が出され、多くの「青い目の人形」がこわされた。そのとき子どもたちは、どんな思いだったのだろう。子どもたちは「少国民」と呼ばれ、まわりは戦争一色になった。戦車や戦闘機を描いた子ども茶碗や兵隊人形。少年兵の勇ましい姿を載せた雑誌。多くの男の子は、その絵にあこがれた。

そして昭和20年8月15日、同6年の満州事変以来、15年に渡った戦争は日本の敗戦で終わった。子どもたちは、それまで勉強していた教科書の戦争に関連する箇所にも墨を塗らされた。日本を占領したGHQ、そして日本の学校の先生たちは、教育の改革に取り組んだ。価値観は180度変わり、平和な時代がやってきた。

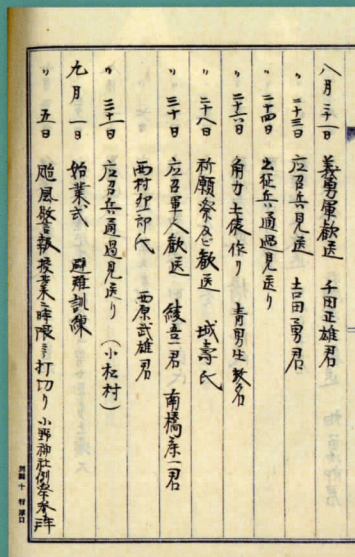
もう二度と「青い目の人形」をこわすような時代になりませんように。この企画展が、平和の大切さを考えるきっかけとなれば幸いです。



日の丸の鉢巻をして記念撮影 個人蔵



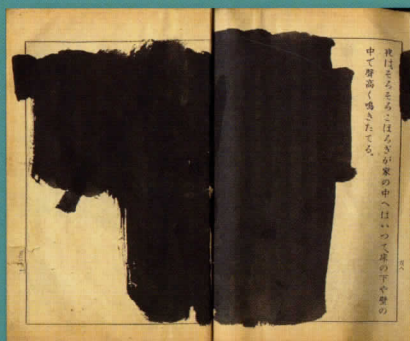
兵隊人形 個人蔵



出征兵士などの見送りを記録した沿革史
大津市立和邇小学校蔵



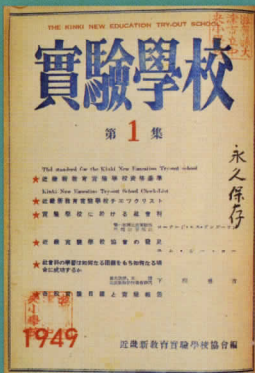
(特別出品) ビルマ(現ミャンマー)から戻った
奇跡の日の丸 個人蔵



墨塗り教科書 滋賀県平和祈念館蔵



戦時中の子ども茶碗
KIN コレクション



戦後の教育改革に取り
組んだ「実験学校」の記録
大津市立中央小学校蔵



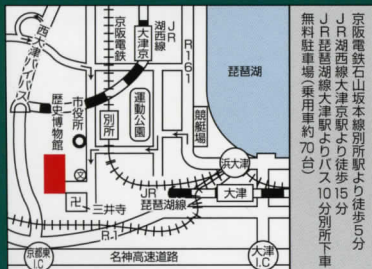
占領軍の象徴・ジープのおもちゃ 本館蔵

【その他の主な展示資料】

戦時中の子どもの学生服や着物、メンコや兵隊福笑いなどの遊び道具、軍艦型の貯金箱、戦後では新制中学校に関する資料、能登川東小学校みたま記(元瀬田国民学校・矢嶋校長の実践教育の絵巻物)、戦前から戦後の町内会回覧板など、当時の子どもたちの姿を浮き彫りにする多彩な資料を展示。

【チラシ表の資料】

中央 青い目の人形たち(左から、甲賀市立甲南第二小学校、大津市立平野小学校、彦根市立福枝北小学校、日野町立日野小学校の所蔵)、背面は平野小学校の人形のパスポート。
右上から、第四期国定教科書 昭和8年 個人蔵、子ども茶碗(ジープに乗る占領軍のアメリカ兵) KIN コレクション、戦時教育紙芝居「明るい銃後」 昭和16年 本館蔵。
左上から、瀬田国民学校絵日記 昭和19年 本館蔵、「少国民の友」 昭和17年 個人蔵。 背景は満州(現中国東北部)から家族に宛てた軍事郵便 昭和17年 個人蔵。



企画展関連講座

■8月2日(土)14:00~15:30

「滋賀県の戦争遺跡」(中井均・滋賀県立大学教授)

■8月9日(土)14:00~15:30

「戦前から戦後の学校教育」(植川修・大津市歴史博物館館長)

■8月23日(土)14:00~15:30

「戦時下における子どもたちのくらし」

(北村美香・滋賀県平和祈念館学芸員)

※事前申し込み要。有料。詳しくは大津市歴史博物館まで。

大津市歴史博物館

〒520-0037 滋賀県大津市御陵町2番2号
TEL 077-521-2100 <http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp>